

「設計の見える化・ArchiMate 3.0 トレーニング・コース」開催のご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、「設計の見える化・ArchiMate 3.0 トレーニング・コース」開催につきましてご案内申し上げます。

EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)は、デファクトの標準フレームワーク(TOGAF)に代表されるように、ビジネスモデル変革・ビジネスプロセスを創造的に変革することで、新しいビジネス価値を生み出し、ビジネスのケーパビリティを向上させるために再利用できるビルディング・ブロックを毎回確実に増加させることで、ムダ・ムリを排除していくオープンな構造設計を目指します。

この戦略を推進するための ICT 側と経営側とのコミュニケーションは、アーキテクトが書いたテキストや図で行われるのが普通ですが、チームメンバーが多数になれば標準化され誰もが分かるアーキテクチャ記述言語が不可欠です。このアーキテクチャの見える化を担当するのが ArchiMate です。

ArchiMate を使用することにより、TOGAF によって生成されるアーキテクチャをビジネスの現場、システム開発からオペレーション部隊に至るまで、分かり易く“見える化”し、曖昧さを排除できることから、ステークホルダをはじめ関係者の理解が格段に得やすくなります。

また、構築されたアーキテクチャを、ソリューションチームに渡し、ガバナンスするドキュメント管理、ポートフォリオ管理、アウトソーシング管理も格段に効率化できます。

2017 年 12 月現在、ArchiMate の世界の認証者数は、5,000 名を超えています。

今回開催いたします国内における第 3 回目のトレーニング・コースは、EA を記述する上で明示的に必要なモチベーションやストラテジーの記述がさらに容易になった最新の ArchiMate3.0 に基づいて行われます。

TOGAF 認証者と ArchiMate2.1 認証者の方々、同等の知識・経験をお持ちのアーキテクトの方、ジュニア・EA アーキテクト又は EA ライブラリアンの方々を対象に、TOGAF と ArchiMate の組み合わせによりアーキテクチャの効率的構築を進めて頂きたいと考えご案内申し上げます。

TOGAF の一層の活用のために、奮ってご参加のほどお待ち申し上げます次第です。

敬 具

グローバル情報社会研究所株式会社 代表取締役社長
オープン・グループ 日本代表・会長
藤枝 純教